

Introduction

～ まちの人紹介 ～



雄武町地域包括支援センター 在宅支援係 兼 介護予防係

たに かずあき
谷 和明さん



「初心を忘れず、常に新しい視点を持ちながら、誰からも頼られる職員でありたいです」と話すのは、雄武町役場職員2年目の谷和明さん。士別市出身で、前職は士別市内の特別養護老人ホームで生活相談員兼ケアマネジャーとして勤務し、福祉業界に携わって21年目を迎えました。

谷さんが雄武町を選んだ理由は「海の見える自然豊かな町に住んでみたかったこと、未経験だった地域包括支援センターの仕事に挑戦したかったから」とのこと。実際に移住してからは、四季折々の美しい景観に感動しながら、日々の暮らしを楽しんでいるそうです。

現在の業務内容について聞いてみると「高齢者やそのご家族の方を対象に、必要な介護サービスや関係機関とのつなぎ役を担っています。相談援助は、言葉一つで関係性が崩れてしまう難しいこともあります。支援を通してご本人の生活が変わり、自立と笑顔が見られる瞬間が何より嬉しいです。また、今年度から、認知症予防事業や学生を対象にした介護の普及事業など、新たな取り組みにも積極的に挑戦をしています」と相談援助の難しさややりがいについても話してくれました。

最後に、休日の過ごし方について聞いてみると「キャンプやバイク、カメラ、料理などを楽しんでいます。加えて、士別で長年柔道の指導者をしてきた経験を活かし、町武道館で子どもたちの心身の育成に携わることも楽しみの一つです。また、雄武猟友会の有害鳥獣駆除事業に参加しており、雄武町の産業への被害防止に尽力していきたいです」と公私ともに意欲的で充実しているようでした。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、
— すこやかに、なごやかに、まめやかに — 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくりま。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりま。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりま。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりま。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となりま。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼今回は、雄武町内の小中学校で行われた運動会取材しました。3回中2回はあいにくの雨模様でしたが、児童生徒の皆さんは一生懸命に競技に取り組んでいました。先生方からも、声援や温かなまなざしなど、日々児童生徒たちの成長を間近で見ているからこそ生まれる深い情熱が伝わってきました。濡れたグラウンドの向こうに、夏の始まりが見えた気がします。（館田）